

# ダイブガード敷設手順

効果を最大限に発揮するには設置方法も重要です。



## ① 施工前に草刈・整地を行う

雑草を刈り払い、浮き石などを取り除き平らにしてください。  
状況に応じて、雑木の繁茂している所は根を取り除き平らに整形してください。  
**※雑木等の切り株が地上部より出ていると、  
防草シート敷設時にシート上に乗った際、突き破る恐れがあります。**



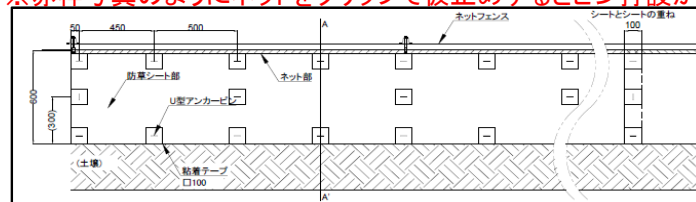
## ② ダイブガードを揚げ設置する(重ねは10cm以上)

ダイブガードは地面に転がした面が表となります。  
1. 雨の流れ、風向きを考慮して、重ねの上下を決定してください。  
2. 重ね部分は10cm以上設けてください。端部にU字溝やコンクリートブロックなどの構造物がある場合にも10cm以上の重ねを設けてください。  
3. 障害物がある場合はカットして対応してください。



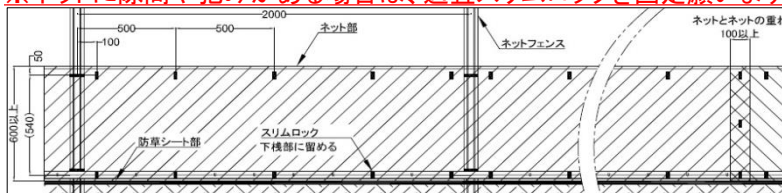
## ③ 等間隔にマーキングを行い、アンカーピンで打設する

1. 巻尺などを用い打設標準パターン(下図)を参考にマーキングをしてください。  
2. 防草シートの周りは50cm間隔、内側は100cm間隔で打設してください。  
**※現場状況に応じて、アンカーピンの径、長さの設計変更願います。  
※赤枠写真のようにネットをクリップで仮止めするとピン打設がしやすくなります。**



## ④ ネットとフェンスをスリムロックで固定する

1. ネットをフェンスに沿って立ち上げてください。  
2. スリムロックを下図を参考に通り固定してください。  
3. スリムロックの余剰箇所をカットし除去してください。  
**※ネットに隙間や弛みがある場合は、適宜スリムロックを固定願います。**



## ⑤ 粘着テープを止めピンの頭部に貼り付ける

1. 粘着テープは口10cmにカットしてご使用ください。  
2. ピン周りの砂埃をはらい、ピンの上から貼り付けて下さい。  
3. 特に四スミは砂埃がたまりやすいため、四スミから剥がれないようしっかりと押し付けてください。  
**※施工面の濡れは接着不良の原因となるため、乾燥していることを確認し施工ください。  
※構造物がある場合は、別途アタッチやウレタッチを使用しシートと接着してください。**



## ⑥ 完成

アンカーピンの打設ミス、粘着テープの貼り忘れやスリムロックの付け忘れが無いか確認し問題が無ければ完成です。